



しもながや

令和3年4月30日 発行

横浜市立下永谷小学校

鈴木イチロー校長先生

校長 鈴木陽一

「校長先生の名前は、鈴木イチローである。○か×か。」

先日、1年生を迎える会を行いました。その際、運営委員の子たちが、下永谷小学校のことを○×クイズにして1年生に出しました。屋上から見える景色やキリン像のしっぽなどが問題として出されました。そのやり方は、1年生が○か×かを、まず出し、そのあと2～6年生が答えを出すというものでした。上級生なら正解できるからあとから1年生が出すという工夫がされていて感心しました。さすが、2～6年生はほぼ正答でした。

児童会的には、1年生を迎える会で、正式に、下永谷小学校に1年生が仲間入りをするのです。しかし、新年度が始まってから、すでに6年生は、朝や給食の時間、掃除の時間などに1年生の教室にサポートに行っています。2年生は、1年生を連れて学校探検をするために、事前に下見をして回って、どんなことを伝えたいか話し合うなどしています。もうすでに1年生は、下永谷小学校のかけがえのない一員になっていました。

毎年のことですが、不思議なことに、新年度になってまだ1ヶ月にもならないのに、それぞれの子どもたちは、一回りも二回りも大きく見えます。5・6年生は、高学年として学校のリーダーの顔をしています。それぞれ教室にいる姿は、少し前にいた学年の子どもたちと比べて、体格は小さいのですが、ほかの学年の子どもたちも、ぐっと落ち着いてみえます。立場が人を変えるとよく言われます。進級して学年が上がることで、ぐっと成長しています。新しい学年での新たな学習や活動に臨むことで成長が見られるのです。しかし、なによりも、子ども自身が頑張ろう、しっかりやるという気持ちをもつことがとても大きいと思います。

そんな子どもたち一人一人が抱えている気持ちを大切に、教職員一同で、成長を促していきたいと考えています。保護者の皆様・地域の皆様には、学校と共に子育てをしていただきたくお願いいたします。どうかご理解ご協力をお願いいたします。

冒頭の○×クイズの問題は、1年生はもちろん私の名前をわからない子が多かったです。しかし、上級生でも間違えた子が多くいました。イチロー選手にはかないませんでした。